令和７年度　事業報告

自　令和７年　４月　１日
至　令和８年　３月３１日

社会福祉法人　名古屋市守山区社会福祉協議会

目　　次

主な活動及び事業

1　法人運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　広報・啓発活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　「守山区地域福祉活動計画」の推進　・・・・・・・・　3

4　地域福祉活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

5　ボランティア給食サービス事業　・・・・・・・・・　１２

6　ボランティア活動　・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

7　重層的支援体制整備事業　・・・・・・・・・・・・　１７

8　在宅福祉関係事業　・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

9　生活福祉資金貸付事業　・・・・・・・・・・・・・・　２５

10　心配ごと相談事業　・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

11　在宅サービスセンターの運営　・・・・・・・・・・　２６

12　児童館・福祉会館の管理運営　・・・・・・・・・・　２７

13　共同募金運動への協力　・・・・・・・・・・・・・　３０

1　法人運営

理事会、評議員会等

1　理事会

開催回	開催月日	会　場	主な議事内容
93	令和7年6月2日（月）	研修室	・ 令和6年度事業報告（案） ・ 令和6年度決算（案） ・ 役員候補者の推薦の提案 ・ 評議員候補者の推薦の提案 ・ 評議員選任・解任委員会の招集 ・ 資産運用状況
94	令和7年6月26日（木）	区役所講　堂	・ 会長・副会長の選定 ・ 顧問の決議 ・ 総括理事の指名 ・ 評議員選任・解任委員の選任 ・ 評議員会の招集
95	令和7年12月12日（金）	区役所講　堂	・ 令和7年度資金収支補正予算（案） ・ 評議員候補者の推薦の提案 ・ 評議員選任・解任委員会の招集 ・ 共同募金実績額等の推移
96	令和8年3月23日（月）	区役所講　堂	・ 令和8年度事業計画（案） ・ 令和8年度資金収支予算（案） ・ 本会旅費規程の一部改正 ・ 役員等賠償責任保険契約への加入 ・ 令和8年度評議員会の招集

2　評議員会

開催回	開催月日	会　場	主な議事内容
71	令和7年6月26日（木）	区役所講　堂	・ 令和6年度事業報告（案） ・ 令和6年度決算（案） ・ 役員の選任について ・ 資産運用状況
72	令和7年12月12日（金）	区役所講　堂	・ 令和7年度資金収支補正予算（案） ・ 共同募金実績額等の推移
73	令和8年3月23日（月）	区役所講　堂	・ 令和8年度事業計画（案） ・ 令和8年度資金収支予算（案）

３　評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日	会　場	主 な 議 事 内 容
１２	令和７年６月６日（金）	ボランティアルーム	・　新評議員 46 名の選任（一斉改選）
１３	令和７年 12 月 19 日（金）	共用会議室	・　新評議員３名の選任

４　監事監査

事項	開催月日 出席状況	会　場	主 な 議 事 内 容
監事監査	令和７年５月２８日（水） ・監事２名	相談室	・　事業報告等の監査 （理事の職務の遂行に関する監査） ・　計算関係書類及び財産目録の監査

２　広報・啓発活動

１　福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した広報紙を、年２回（秋号９月、春号２月）発行し、区内全域に配布しました。

【発行実績】

vol．９７（令和７年夏号）　６８，０００部

vol．９８（令和８年春号）　６７，０００部

２　「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、区民の皆様に役立つ福祉情報が入手できる福祉情報設置店の設置を推進しました。「設置店サポーター」と呼ばれるボランティアが、定期的に設置店へ情報誌等をお届けしました。

【設置店】　５９か所

【設置店サポーター】　１８名



福祉情報の設置

３　「ホームページ」・「インスタグラム」等の SNS の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を本会ホームページやインスタグラムに掲載し、多くの区民の皆様等へ情報を発信いたしました。

【ホームページアクセス件数】
１１３，９６９件（月平均９，４９７件）前年比＋２９，８１０件
＊小数点以下四捨五入

３　「守山区地域福祉活動計画」の推進

１　第５次計画の推進

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働した取り組み等を計画的に行っており、第５次計画（計画期間：令和６年度～令和１０年度）の実施２年度目であり、各プロジェクトチームで実施項目に沿って、企画を進めました。

（１）第５次計画推進委員会

開催日：令和７年７月１０日（木）
令和８年３月１９日（木）
内　容：各プロジェクトチームの進捗状況の共有、意見交換、第５次地域福祉活動計画の推進

（２）プロジェクトチーム（第５次計画の推進）

	プロジェクトチーム会議開催日				
おしごとづくり	4 月 28 日	6 月 16 日		8 月 19 日	10 月 6 日
子どもの活躍場づくり	5 月 29 日	7 月 2 日		10 月 2 日	2 月 5 日
つながりづくり	4 月 22 日	5 月 16 日	5 月 30 日	5 月 31 日	7 月 10 日
	9 月 26 日	11 月 28 日	1 月 28 日	3 月 19 日	
MORIYAMAライ麦	7 月 17 日			3 月 4 日	

＜おしごとづくりプロジェクトチーム＞

守山区の自然素材などを活用した取り組みを企画し、一人ひとりができること・得意なことを見つけ、やりがいを持って参加しながらバトンタッチしていく、人と人とのつながりを感じられるしくみづくりを目指し、下記の事業を実施しました。

①自然素材を活用した創作活動
・小幡緑地公園でリース材料の収集活動、リースの土台製作
・真竹やライ麦の穂先を活用したミニ門松の製作


リースの材料収集@小幡緑地


製作したリース土台


製作したミニ門松

②地域に還元できる創作活動

・保護猫団体に活用してもらう段ボールを用いた猫の爪とぎ製作
・保育園で活用してもらう広告から切り出した折紙の製作


製作した猫の爪とぎ


広告から折り紙を切り出す作業

＜子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム＞
第５次計画に基づき、子どもたちが知らない分野に触れたり、また得意なこと、好きなことを活かして、自分らしく活躍できる居場所づくりを目指して、「かお」をテーマとした「子どもアート作品」を募集し、応募者全員を対象に「展示会＆交流会」を開催しました。

＜対　　象＞　守山区在住在学の０～１８歳
＜募集内容＞　１～４コマのマンガ・イラスト
＜巡回展示＞　守山区役所・守山児童館・
守山図書館・志段味図書館・
福祉まつり・もりやまっこ子育て広場
＜展 示 会＆
交 流 会＞　作品を応募した子どもたち、保護者の方々との交流会を実施



子どもアート展示会＆交流会

＜つながりづくりプロジェクトチーム＞
第５次地域福祉活動計画に基づき、「守山区らしさで世代を超えてつながる～きっかけは何？この指と～まれ！～」・「学びや気付きでつながる人と人」を目標とし、より多くの区民が世代をを超えて集まり、つながることができるよう、自然・健康・防災等を取り入れたイベントとして第２弾を企画し、実施しました。当日は、雨天のため急遽、イベント内容を変更して室内で実施しました。

＜イベント名＞　第２弾「つながりづくりプロジェクト
～みんな集まれ！大人もこどもも！～」
＜開催日時＞　令和７年５月３１日（土）９:３０～１２：００
＜開催場所＞　社会福祉法人九十九会　軽費老人ホーム名古屋市緑寿荘
＜実施内容＞　①ボッチャをやってみよう！
②防災グッズをつくってみよう！
＜参加者数＞　４６名


チーム対抗！ボッチャ対決




防災グッズの作成

＜ＭＯＲＩＹＡＭＡライ麦プロジェクトチーム＞

プロジェクトの持続力を高め、広げる～１本のライ麦からつながるこれから～

・ライ麦オープンスペース（１４回 延べ　２５９名参加）

・販売プロジェクト会議（２回）

内容：ライ麦のストロー以外の有効活用の方法と事業所間での役割分担やＰＲ等について話し合いを進めました。

・イベント出店等によるＰＲ活動

・ふれあい・いきいきサロン等へハンドクラフトサポーター出張

（９回　延べ２２２名以上参加／その他、オープンスペースでもクラフト体験実施）

・サロンでの節切り協力、大森北学区コミセンまつりにて民生委員の皆さんによるストロースター作り（約１００名参加）、企業との連携など


小学校への出張講座


クラフトボラ体験会


女性会研修会でのクラフト体験

４　地域福祉活動

１　学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、学区の特色や実状を踏まえた支援を行いました。

地域福祉推進協議会役員研修会・事務説明会の開催

開催日：令和８年３月１２日（木）

内　容：『大森学区地域支えあい事業「ねこの手」について』

発表者 大森学区ご近所コーディネーター　臼井　洋行 氏

守山区社会福祉協議会 地域福祉推進スタッフ

・助成金精算・申請にかかる事務説明
・ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険の案内

２　名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では７学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

令和７年度は長年にわたり地域福祉の推進に功績のあった団体として、本地丘学区、吉根学区、白沢学区地域福祉推進協議会に名古屋市長より１０年感謝状が、小幡北学区に名古屋市社会福祉協議会会長より５年感謝状が贈呈されました。

実施学区	登録ボランティア数	活動延人数	ボランティアポイント数
本地丘	２５名	９９９名	３，５６４Ｐ
吉根	４０名	１６３名	４５４Ｐ
白沢	６７名	８６６名	６，１４５Ｐ
大森北	３５名	６６６名	２，２７３Ｐ
小幡北	４５名	４２９名	１，１０５Ｐ
大森	３９名	１，１６０名	５，４８９Ｐ
上志段味	２７名	６０１名	２，０２３Ｐ

※ボランティアポイント…学区で認定された支えあいボランティア活動によって付与、ポイントは現金に換算され（1P=10 円）、推進協等へ還元されます。

【研修名】地域福祉のすゝめ
【開催日】令和７年１０月３０日（水）
【参加対象者】地域福祉推進協議会構成員、サロン活動実践者等
【内　容】『ゆるやかなつながりで育む地域の支えあい』
同朋大学 社会福祉学部社会福祉学科 加藤昭宏専任講師より講演。
守山区上志段味学区地域福祉推進協議会をはじめ、３学区から地域支えあい活動等の実践状況をご報告いただきました。

【研修名】ご近所ボランティアコーディネーター交流会
【開催日】令和８年１月１４日（火）
【参加対象者】名古屋市内各区のご近所ボランティアコーディネーター
【内　容】地域支えあい事業ご近所ボランティアコーディネーターによる情報交換会を実施。各学区の個別支援（生活支援活動）の取り組みについて情報交換を行いました。

＜守山区地域支えあい事業研修交流会＞
【研修名】令和７年度　守山区地域支えあい事業研修交流会

【開催日】令和８年１月２９日（木）
【参加者】事業実施学区のご近所ボランティアコーディネーター等
【内　容】「新しいお金の使い方とトラブル」について名古屋市消費生活センターの相談員からの情報提供。

＜守山区地域支えあい事業研修会＞【再掲】
【研修名】令和７年度守山区地域福祉推進協議会 役員研修会
【開催日】令和８年３月１２日（木）
【参加者】事業実施７学区及び未実施学区の地域福祉推進協議会の推進員
【内　容】『大森学区地域支えあい事業「ねこの手」について』大森学区の臼井ご近所ボランティアコーディネーターから実践状況をご報告いただきました。

３　「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。



サロン活動の様子

（１）新設サロン（新規把握サロンも含む）

名　称	実施学区
交流ひろば　輪・和	下志段味
つなしょによるプレーパーク	小幡北
100 才になってもサロンで逢いましょう～	吉根
吉根健康マージャン倶楽部	吉根
生き活きわいわい健康麻雀	志段味西
みずいろの家子ども食堂	志段味東
新聞ちぎり絵サロン	森孝西
サロンなでしこ会	廿軒家
サロン健康マージャン白沢	白沢
めばえ文庫	鳥羽見
歌声サロン＆おしゃべりの会	廿軒家

（２）本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の２会場で「わいわいサロン」を実施しました。

実施会場	実施回数	延べ参加者数
本会研修室	１２回	４３９名
コープあいち小幡店	１１回	１８９名

（３）サロン運営者の支援

サロン運営者への情報提供、ネットワークづくり、運営者同士のつながりづくりや息抜き、運営にまつわるお悩み解決、プログラムのマンネリ解消等を目的として開催しました。

・助成金事務説明会…4/10　24 名、4/14　19 名、4/15　23 名
・サロン運営者連絡会…7/4（金）23 サロン、30 名・7/7（月）24 サロン、35 名
・サロン運営者のためのサロン
　① 11/5（水）　運営者同士の情報交換会
　　（29 サロン 34 名）
　② 3/6（金）　運営者同士の情報交換会
　　（28 サロン 35 名）


サロン運営者連絡会

（４）子ども食堂・子どもの居場所関係者の研修交流会

守山区内で子ども食堂が増えてきていることから、子ども食堂や子どもの居場所関係者同士の情報交換、情報共有することを目的に、初めて研修交流会を開催しました。大森・金城学院前駅構内にある、「MACHIKOYA 守山大森」の場所をお借りしました。



開催日	内容	参加者数
９月２４日	・ランチ交流会（昼食をとりながら自由な交流） ・金城学院大学　村井琢哉先生によるお話(研修会) ・情報交換会（団体の活動紹介、運営上の工夫、広報、地域とのつながり等)	２５名

（５）生活支援専門部会の開催

高齢者の介護予防・健康増進につながる健康体操やサロンの拡充、生活支援活動を行うボランティアの活動支援や地域生活における課題把握について、関係機関や地域住民、行政職員等と検討する部会を年３回開催しました。

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
５月１２日	・令和７年度事業計画について ・各種関連事業の取り組み紹介	２２名
９月１２日	・令和７年度事業の取り組み状況について ・地域づくりに向けた支援について	２５名
２月２０日	・令和７年度事業の取り組み状況について ・地域づくりに向けた支援について	２０名

【生活支援専門部会関係のその他事業の実施状況】

スマートフォンの操作が苦手な方に対して、個別相談会（年１２回およびイベント開催時に開催）を開催しました。

事業名	実施回数	内　容
スマホのお悩み相談会	１３回	年 12 回および 11/9 福祉まつり、のべ 71 名に実施

また、サロンや地域団体等からの依頼に応じ「出張講座＆地域座談会」を実施し、身近な場所での情報提供と住民同士の交流を図りつつ、地域生活課題の把握に努めました。

依頼者	人数	テーマ	実施担当
みんなのひろば	17 名	介護保険制度（制度外サービス含む）について	東部いきいき支援センター
有隣会　サロン苗代	5 名	フレイル予防	保健センター
サロン山の手	13 名	介護保険制度について	東部いきいき支援センター
森孝西民児協	52 名	介護保険制度について	東部いきいき支援センター
志段味西民児協	10 名	災害への備え	保健センター
はつらつ （廿軒家会場）	22 名	災害への備え	保健センター

４　「高齢者はつらつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの６５歳以上の高齢者を対象に、地域のボランティアの協力のもと、守山区内 8 会場において週に一度、健康増進及びレクリエーション等のプログラムを実施しました。

介護予防・認知症予防への理解を深めるとともに、元気ではつらつとした生活を送るための知識を身につけながら、孤立感の解消や生きがいづくり、新たな仲間づくりへの意識を深め、自主的な活動や地域活動などへの参加につながるよう支援を行いました。

また、参加者及び家族への支援として、地域や専門職、関係機関と連携した支援を行いました。



皆さんで散策



参加者企画「おかしづくり」



地域親子交流会

【実施状況】　令和７年度

小学校区	会　場	実施曜日	参加登録者数		年間延べ参加者数
			前期	後期	
吉　根	吉根公民館	月	26 名	24 名	813 名
廿軒家	廿軒家会館		27 名	27 名	945 名
森孝西	森孝西コミセン	水	26 名	28 名	1,120 名
白　沢	白沢コミセン		27 名	28 名	1,091 名
志段味東	志段味東コミセン	木	26 名	28 名	1,073 名
苗　代	本会研修室		27 名	27 名	1,018 名
瀬　古	平成会館	金	28 名	25 名	1,061 名
大森北	大森北コミセン		25 名	28 名	978 名
合　　計			212 名	215 名	8,099 名

５　「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。具体的な事例を通じて地域での多文化共生と人権尊重のあり方を考える講演を行いました。

【開催日】令和７年１２月３日
【会　場】守山文化小劇場
【内　容】『「知ってみる」から始まる、多文化共生～愛知・名古屋 2026 大会に向けて～』
【講　師】JICA 海外協力隊経験者　丹羽　俊策 氏

６　各種事業の後援、協力

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援や協力を行いました。

（１）協力

事　業　名	実施日	主　催	内　容
小幡緑地まつり ２０２５	11 月 22 日	小幡緑地まつり ２０２５ 実行委員会	地域共生社会の実現につなげるため、地域の各種団体が分野を超えて集まり、交流を深めながら、地域住民が世代や障がいの有無を超えて楽しみ、つながりをつくるイベント。

７　守山区福祉まつりの開催



ボランティア連絡協議会を中心に企画会議を重ね、当日は、ボランティア団体と障がい者福祉施設の授産製品のブースが並びました。

スタンプラリーで福祉体験（点字・手話）や防災ブースを回る形とし、多くの方にご参加いただきました。今回、守山医師会、守山歯科医師会、守山薬剤師会の三師会のブースも復活しました。

雨となりましたが、多くのボランティアの方々の力により、盛大に行われました。

開催日	来場者
１１月９日（日）	約３，５００人

８　各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

（１）高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事　　項	実施日・期間	会　場
さわやか健康づくり講習会	５月１６日	守山区役所講堂
趣味の作品展	６月３日～６日	守山区役所講堂
友愛活動研修会	２月４日	守山文化小劇場

（２）児童関係事業

① 子ども会事業

事　　項	実施日・月	会　　場
キャンプ講習会	８月２２日～２４日	定光寺野外活動センター
オリエンテーリング大会	１１月１６日	愛知県森林公園植物園
スポーツ大会	２月１５日	守山スポーツセンター
綱引大会	２月１５日	守山スポーツセンター

② 保育園事業

事　　項	実施日・期間	会　　場
保育まつり	１１月２７日	守山文化小劇場

（3）障がい児(者)関係事業

事　　項	実施日	会　　場
バスハイク	３月８日	アグリス浜名湖、浜名湖フラワーパーク
クリスマス会	１２月１４日	守山区役所講堂
親子交流会	１０月１９日	本山ボウル

（4）その他事業

事　　項	実施期間	会　　場	備　　考
社会を明るくする運動	４月～１２月	―	保護区保護司会
更生保護施設の草取り・花植え事業	通年	―	更生保護女性会
ふれあいサロン啓発事業	通年	愛知自啓会集会室	更生保護女性会
元気まつり守山	１０月２６日	三菱電機守山グランド	区民まつり実行委員会
グループ活動発表会	１２月１７，１８日	守山区役所講堂	地域女性団体連絡協議会

５ ボランティア給食サービス事業　＊昭和５１年度から開始

１　配食サービスによる見守り活動等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。また、令和７年１０月より、１食３４０円から３７０円へ値上げしました。



配食による声掛けと見守り活動

（1）「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催　※「利用者数」は、３月時点の利用者数。

項目	員数	備考
利用者数	１１９名	〈配食日〉 志段味地区　週１回（水） 上記以外　　週２回（火・木） ※苗代、二城、小幡、守山、西城、瀬古、下志段味、志段味東、上志段味、鳥羽見学区を除く。 〈業者〉日本ケータリング（株）
年間配食数	９，１８３食	

イ 学区福祉推進協議会主催　※月１回以上実施学区。　（順不同）

学区	年間配食数	備考
白沢	３３８食	月２回（尾張荘弁当）

② 会食方式　※学区地域福祉推進協議会主催で月１回以上実施学区。　（順不同）

学区	年間提供数	備考
瀬古	４６８食	月２回

（２）「おせち料理」実績

給食ボランティアにより本会調理実習室にて、学区ごとでおかずを割り当てし調理しました。

実施日　１２月１９日
（前日、前々日仕込）
参加者　　２４名
作成数　１００食
※大森・廿軒家・森孝東・瀬古・大森北・天子田
白沢・小幡北・志段味西の９学区





おせちづくり

（３）ボランティア数（令和８年３月末現在）

２２４名

（４）その他

① かわら版の発行（配食予定表）　年１２回
② ボランティアだよりの発行　　年　１回
③ エコキャップ運動　　年１２回

※　ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。

２　企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会を毎月開催するとともに、運転・添乗・仕分けボランティア打合会・研修会を二部制にして開催しました。

■開催状況

事項	開催日	場所
企画委員会	毎月第１木曜日	アクロス小幡共用会議室
運転・添乗・仕分けボランティア打合会	４月１６日	研修室
連絡員等打合会	４月１６日	研修室
	７月１６日	
	１０月１５日	
	２月２７日	
手作りおせち	１２月１９日	調理実習室

給食ボランティア研修会 おつかれさま会 （連絡員・運転等ボラ合同）	７月１６日 ２月２７日	研修室

６　ボランティア活動

１　ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

（１）ボランティア活動の需給調整　　需給調整件数　２６５件

〈内訳〉

相談（依頼）者	
個人（本人）	１７７件
社協内他部署	１３件
福祉施設等	４４件
地域住民・団体	３１件
その他	０件

内容	
地域（在宅）生活支援	１３０件
見守り・話し相手・孤立防止	７件
移動・外出	４３件
社会参加・交流	４７件
趣味・教養	３件
施設ボラ運営系	７件
施設ボラ披露系	２７件
その他	１件

（２）登録ボランティア数

グループ･団体数	９４団体
個人登録者数	２９名

２　「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（１６団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通したスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」を開催しました。

（１）ボランティア養成講座

事　項	実施日・期間	場　所	参加者
やってみよう！手話 （全１２回）	10月～12月	本会 ボラルーム	１６名
夏休みボランティア一日体験講座 地域猫、保護猫のボランティア活動を体験してみよう！	8月6日	本会研修室 DOTS MEOW MORIYAMA	１９名
ライ麦クラフトボランティア体験会	10月22日	本会研修室	９名
大人向けボランティア一日体験講座 クッキーづくりボランティア	2月6日	本会研修室 調理室	５名

（3）ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	２４０件	１,８４９名
ボランティア行事用保険	４１１件	１２，９３４名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会　場　等
わいわいサロン（体操）	毎月第２金曜日	研修室
事業名	開催日	会　場　等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第２土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第２土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第２土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第４土曜日	ロビー

３　障がい者団体や小・中学校・高校や地域と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小学校や高校等において車いす、手話、アイマスク・ガイドヘルプ、高齢者疑似体験などの福祉教育の学習を実施しました。
また、障がい当事者による講話や、社会福祉協議会の取組み紹介を通して、福祉について学ぶ機会作りを行いました。

（1）福祉教育実施

実施日	名　称	対象	人数	内　容	協　力
5 月 27 日	天子田小学校	５年生	49 名	・視覚障がい者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師１名 社協職員　２名
6 月 6 日	鯱城会	会員	10 名	・車いす体験	社協職員３名
6 月 19 日	志段味東小学校	５年生	106 名	・車いす体験 ・車いす当事者講話	Animo㈱　３名 社協職員　２名
6 月 24 日	守山小学校	４年生	130 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師１名 福祉サポーター3 名 社協職員３名
6 月 27 日	廿軒家小学校	４年生	106 名	・福祉・社協の講話 ・デイサービス職員講話 ・車いす体験 ・福祉車両体験	社協職員２名 （デイサブマネ１名 福祉教育担当１名）
9 月 10 日	小幡北小学校	５年生	59 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師　１名 社協職員　２名

9 月 11 日	志段味東小学校	５年生	106 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師１名 福祉サポーター3 名 社協職員　２名
9 月 30 日	緑丘高校う組	２年生	14 名	・地域福祉の講話（1）	つながり研究所　１名 社協職員１名
10 月２日	緑丘高校え組	２年生	12 名	・地域福祉の講話（2）	つながり研究所　１名 社協職員１名
10 月９日	小幡北小学校	５年生	59 名	・高齢者疑似体験 ・車いす体験	インストラクター１名 福祉サポーター3 名 社協職員名
10 月 15 日	緑丘高校う組	２年生	14 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師　１名 社協職員　１名
10 月 22 日	緑丘高校え組	２年生	12 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師　１名 社協職員　１名
10 月 24 日	本地丘小学校	5 年生	14 名	・高齢者疑似体験 ・ボッチャ体験 （地域高齢者との交流）	高齢者疑似体験インストラクター　１名 地域高齢者（はつらつ参加者）　７名
11 月 12 日	小幡小学校	5 年生	59 名	・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師１名 社協職員３名
11 月 15 日	大森北支え合い事業関係者	関係者	16 名	・車いす体験	当事者講師２名 社協職員３名
12 月 16 日	本地丘小学校	5 年生	14 名	・車いす体験 ・視覚障がい当事者講話 ・アイマスク・介助体験	当事者講師１名 地域生活支援拠点職員（凪の丘）１名 社協職員２名



高齢者疑似体験



車いす体験



福祉車両体験

（2）区内企業・学校・個人など資材貸出

貸出日	名　称	対象	人数	内　容	貸出数
4 月 11 日～ 4 月 14 日	社会福祉法人 1980	市民	10 名	研修の為	高齢者疑似体験セット 5
11 月 19 日～ 11 月 26 日	吉根中学校	生徒	200 名	防災体験	高齢者疑似体験セット　9
12 月 2 日～ 12 月 12 日	オーネスト桔梗	市民	33 名	総合学習	高齢者疑似体験セット　3
4 月 9 日	サロンひまわり	市民	15 名	ボッチャ	ボッチャセット　1

5 月 16 日～ 5 月 19 日	幸心こども会	市民	30 名	ボッチャ	ボッチャセット　2
1 月 28 日～ 1 月 29 日	守山福祉会館	市民	不明	ボッチャ	ボッチャセット　1
2 月 6 日～ 2 月 9 日	守山福祉会館	市民	不明	ボッチャ	ボッチャセット　3
2 月 13 日～ 2 月 16 日	守山区役所	市民	80 名	ボッチャ大会	ボッチャ　1
4 月 25 日～ 4 月 30 日	小幡緑地管理組合	市民	不明	モルック	モルック　1
7 月 18 日	守山区西部いきいき支援センター	市民	不明	若年層との交流イベント	モルック　1
8 月 16 日～ 9 月 1 日	守山区西部いきいき支援センター	市民	25 名	若年層との交流イベント	モルック　1
1 月 8 日～ 1 月 16 日	志段味東小学校	小学生	15 名	授業	点字板　15
2 月 6 日～ 2 月 9 日	志段味東小学校	小学生	15 名	授業	点字板　15
10 月 27 日～ 10 月 31 日	大森小学校	小学生	67 名	授業	アイマスク　55 白杖　2 高齢者疑似体験セット　12

４　耐震留具取付サービス事業　＊平成１７年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】　令和７年７月～令和８年３月

【施工件数】　４３件（施工累計件数１，０９８件）



耐震留具の取り付け

７　重層的支援体制整備事業

令和６年度から全区で本格実施となった「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」は本会と市社会福祉協議会のコンソーシアムにより名古屋市から受託しており、本区においては３年目を迎えました。

（1）包括的相談支援チームによる支援の実施

名古屋市においては、多機関協働支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に行う「包括的相談支援チーム」を行政区ごとに配置することとしています。

本区においては、相談支援担当次長１名、主事１名および専門職である包括的相談支援スタッフ３名、社会参加の準備の場（拠点）を運営する寄り添いスタッフ２

名を配置し、重層的な支援を行っています。

■令和７年度包括的相談支援チームによる支援の実施状況（令和８年３月末時点）
チームが支援プランを作成し継続的に支援を行っているケースについて

区　分	多機関協働	アウトリーチによる継続的支援	参加支援
件　数	61 （終結 20）	26 （終結 7）	22 （終結 7）

方　法	電話・メール	訪問・面談
本人・家族	1,545 回	884 回
関係機関等	1,550 回	593 回

（2）連携をはかるための会議・連絡会、勉強会等の開催

機会を捉え事業の周知や事例検討、勉強会を開催しています。また、多機関協働や連携をすすめ包括的な相談支援体制を構築するため、相談支援機関の役割や機能、支援スタンス等相互理解を深められるような機会を設けています。

■令和７年度実施状況
・子ども応援委員会との情報交換会の実施
・民生子ども課等窓口職員向け勉強会の開催
・事例をもとにした勉強会の開催
・公立私立保育園および認可保育園長会での事業説明
・ケアマネ研修会での事業説明・事例検討
・自立支援連絡協議会・地域生活支援部会研修会での事業説明・事例検討　など

重層的支援会議および守山区連携会議を経て実施した
「事例をもとにした勉強会」

・日時：令和 8 年 2 月 12 日
・内容：重層事業および守山区での取組紹介、事例検討
（高齢の母と障害特性のある子世帯への支援）
・参加者：43 名
（区役所・支所、保健センター、病院、いきいき支援センター、障害者基幹相談支援センター、福祉関係事業所（就労移行支援、就労支援 A 型・B 型、生活介護、共同生活援助、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問介護）、子育て応援拠点等）



（3）多様な社会参加に向けた支援

包括的相談支援チームは、社会参加の準備の場（拠点）として「もりやま BASE いっぽ」を開設。自宅以外でゆったり過ごす場、次のステップにつながる場として運営しています。



社会参加の準備の場「もりやま BASE いっぽ」
【毎週（水）10～15 時　開所】

■「もりやま BASE いっぽ」の運営状況

定例開所	50 回
利用者人数	のべ 191 人

また、地域の社会資源を活用し地域団体の協力を得ながら、閉じこもりがちな方の外出の機会となるような企画を実施しています。

■「本地丘コミュニティプラザふれんず」での「誰でも参加できるサロン企画」の実施

実施回数	13 回
参加者人数	のべ 353 人



さらに、準備の場（拠点）に来られない場合でも、社会とのつながりを感じられるような自宅でできるメニュー等を提案しています。

■多様な経験の場の提供、社会参加へのつなぎ



拠点での竹箸づくり



社協事務所での軽作業



子育てサロンへの
出張サンタクロース

（4）支援が必要な世帯に支援を届けるための仕組みづくり

一時的に生活困窮となり、緊急を要する世帯に対し、社会福祉協議会のフードドライブや寄付で集まった多くの食料品、生活用品等を生活状況の把握をしながら、適宜、提供支援しました。併せて、対象者の状況により、認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋や一般社団法人つながり探究所の食支援活動と連携し、“食でつながり、食で支えるしくみづくり”を進めています。

また、社会福祉協議会、東部いきいき支援センター、デイサービス湯～楽、包括的相談支援チームが必要に応じて連携し、公的サービスでは対応できないニーズに対しても臨機応変に対応できるよう内部連携を進めています。



■令和７年度食料支援の実施状況

食料支援の回数	のべ 122 回
食料支援を行った実人数	284 人
（うち包括的相談支援チームの支援対象者）	（39 人）

８　在宅福祉関係事業

１　通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、介護者の負担軽減のため、利用者の身体機能の維持・向上につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

レクリエーションでは、講師を招いて「音楽療法」「３Ｂ体操」「ヨガ」等を取り入れ、毎月二回の「おやつ作り」、二ヶ月に一度の外出を行いました。

■利用状況

	営業日数（日）	実利用人員（名）	延利用人数（名）	内　訳		一日平均人数（名）
				要支援	要介護	
令和７年度	307	797	7,486	1,279	6,207	24.4
令和６年度	308	674	6,140	982	5,158	19.9
増　減	▲1	123	1,346	297	1,049	4.5



おやつ作り



コーヒータイム

２　市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力



ケアマネのキャラクター「まねにゃん」

（１）居宅介護支援事業（令和８年３月の月間実績）

ケアプラン作成総件数	２６５件 （予防給付ケアプラン　８３件含む）

【主な活動】
- 高齢者いきいき相談室（いきいき支援Ｃブランチ型相談室）相談件数５件
- 「はち丸ネットワーク」（情報連携システム〔医療と介護の連携〕）へ参画
- 他法人との共同事例検討会参加（他 キャリアパス研修等実施）など
- 包括的相談支援チームと連携し、地域に住む高齢者の支援

（２）なごやかヘルプ（訪問介護）事業（令和８年３月の月間実績）



訪問のキャラクター「　ヘルピョン」

【提供サービス】
① 介護保険制度における訪問介護事業
② 障害者総合支援法における指定居宅介護事業
③ 家事介護サービス事業
④ 養育支援ヘルプ事業
⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ登録者数	５１名

お客様の人数		２００名
内訳	① 介護保険（介護給付）	５８名
	① 介護保険（予防給付）	５４名
	② 障害者総合支援法	６１名
	③ ④ 措 置 等	７名
	⑤ 生活応援サービス事業	２０名

【主な活動】
- 初任者研修　実習生受入れ
- 市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
- なごやかスタッフ研修　　年１４回開催
（内容：倫理･感染症･認知症･交通安全他）
- なごやかスタッフサロン交流会
（月末書類提出時など）
- サービス提供責任者キャリアパス研修
- なごやかスタッフ退職者による「ＯＧ会」
ボランティア啓発事業
（内容）外出ボランティア、社協実習生へライ麦企画参加等



３　市社会福祉協議会「守山区東部いきいき支援センター」事業への協力

（１）総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。

新規対象数	延対応件数　※
1,725 件	7,485 件

※内訳（複数計上）

介護関係	7,273 件	住居関係	391 件
医療関係	1,021 件	権利擁護	102 件
経済関係	306 件	その他	493 件
対人関係	144 件	認知症	1,234 件

その他集合住宅（本地丘荘）での出張相談を 11 回実施）

（２）認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症の普及啓発を進める他、認知症の人やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事　項	実施回数	人　数	内 容 等
認知症ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座	年 16 回	延べ 290 名	（対象）一般市民、高校生、大学生、行政等。
認知症ｻﾎﾟｰﾀｰ向け情報誌発行	年 2 回	―	ｻﾎﾟｰﾀｰ活動の充実とｽｷﾙｱｯﾌﾟのための情報紙を発行。
認知症ｻﾎﾟｰﾀｰｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ講座	年 2 回	延べ 54 名	講義やｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸを通じて、ｻﾎﾟｰﾀｰとして活動するために欠かせない意欲や知識の向上を図る。
守山区ｷｬﾗﾊﾞﾝﾒｲﾄ連絡会	年 3 回	延べ 41 名 （うちﾒｲﾄ 22 名）	認知症ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座の質向上に向けたｷｬﾗﾊﾞﾝﾒｲﾄ同士の情報共有。
守山区認知症ｶﾌｪ運営者連絡会	年 3 回	延べ 31 名 （うち運営者 12 名）	各ｶﾌｪの運営状況や関連情報の共有。
出会いの会	年４回 （東部主催分）	延べ 110 名 （うち当事者等 68 名）	認知症の当事者やその家族等の交流会。
認知症講演会	年 1 回	271 名	認知症の啓発を目的に、認知症介護、認知症予防の関連したテーマの講演を実施。 ・「オレンジランプ」（映画上映） ・「脳も元気にして認知症予防～家庭でできる体操～」（講師：杉浦節子氏）

（３）認知症の方を介護する家族への支援事業

事　項	実施回数	人　数	内 容 等
家族教室	年 10 回	延べ 31 名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習。
家族サロン	年 12 回	延べ 51 名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、ﾘﾌﾚｯｼｭのための交流会。
もの忘れ相談医による専門相談	年 6 回	延べ 7 名	守山区医師会から派遣された「もの忘れ相談医」による相談。

（４）認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職と専門医とで構成されたチームが、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族への訪問等による支援を通じ、自立生活のサポートをしました。

チーム員会議	22 回
対応件数	27 件

（５）介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

事　項	実施回数	人 数	内 容 等
ケアマネ勉強会	4 回	延べ 178 名	各回テーマは「新しい認知症観を身に付けよう」、「高齢者虐待について学び、考えよう」、「ストレスフルなあなたへ、ストレスと上手に付き合うためのメソッド」、「問題解決しない事例検討会」。
自立支援型事例検討会	1 回	19 名	理学療法士及び薬剤師を講師に招き、自立を目的とした支援のための事例検討会を実施。
民生委員児童委員・ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ連絡会	1 回	36 名	森孝東学区の民生委員とｹｱﾏﾈｼﾞｬｰが一堂に会し、民生委員の活動、ｹｱﾏﾈの役割や仕事など相互理解を深めるとともに、高齢者が馴染みの環境で生活が続けられるよう、グループワークを通じて検討。
「どんぐり通信」の発行	12 回	－	介護予防支援等を委託している事業所のｹｱﾏﾈを対象に業務に役立つ情報を発信。（東西 6 回ずつ担当）

※他、守山区西部いきいき支援センターとともに勉強会、各種ﾈｯﾄﾜｰｸの後方支援などを行いました。

（６）介護予防の取り組み

地域住民に対する介護予防の普及啓発を目的に、各種取り組みを行いました。

事　項	実施回数	人 数 等	内 容 等
いこいこイオン	年 12 回	延べ 316 名	ﾘﾊﾋﾞﾘ専門職を講師に招き、地域住民を対象とした介護予防の啓発を実施。
出前講座	年 9 回	延べ 243 名	地域団体やサロン等からの依頼に応じ、介護予防や介護保険等をテーマとした講座を実施。

（７）高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、訪問などの個別支援や、ボランティアと協力した電話訪問活動「いきいきコール」に取り組みました。地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	1 件	1 件	0 件	0 件	15 件	17 件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

ｺｰﾙﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ登録人数	電話訪問利用者実人数	電話訪問実施延べ回数
3 名	27 名	809 回

③ 防災ボトルの配布

見守り支援事業対象者へ防災ボトルを配付し、緊急時の対応や連絡先を確認しました。

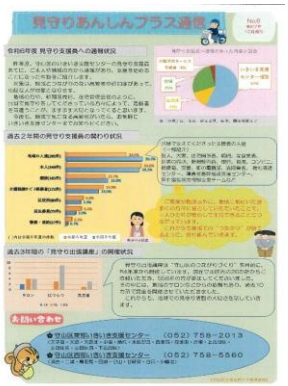
その他、地域における見守り活動の支援や見守り活動の啓発を目的に、以下にも取り組みました。

④ 「つながりづくり」協力者の開拓

地域での住民同士のつながりが希薄である今、地域での見守り体制が必要です。そのことを周知するために作成した「3 つのかけるでつながろう」のチラシとポスター掲示を、地域の各種会合（地域密着型サービス事業所など）でご協力をお願いしました。

⑤ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。（区内総対象者：7 名）
また、新聞販売店と見守り支援員のとのパイプを強化する目的で発行している「見守りあんしんプラス通信」を年 2 回発行しました。



⑥ 見守り出張講座

守山区東西いきいき支援センターが合同で、見守り出張講座の資料を作成しました。サロンなど地域住民の方が集まる場所に、見守り支援員が出張し、守山区における高齢者福祉分野での取り組みやつながりづくりなど、わかりやすく学ぶことができる内容となっています。（東部 出張回数：6 回／参加人数：延べ 175 人）

（８）指定介護予防支援事業及び第１号介護予防支援事業

要支援・要介護状態になる恐れのある人や要支援 1・2 と認定された方が必要なサービスを利用できるようケアマネジメント等の支援を行いました。

年間給付管理数	12,760 件

４　車椅子 貸し出し事業

守山区在住・在勤の方や学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、無料で原則７日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

貸し出し件数	147 件

９　生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

貸付相談・申請・決定件数>

		貸付実績			
		相談（件）	申請（件）	決定（件）	決定額（円）
生活福祉資金	総合支援資金	93	0	0	0
	福祉資金（福祉費）	58	5	4	390,000
	福祉資金（緊急小口資金）	194	2	1	80,000
	教育支援資金	38	1	1	4,880,000
	不動産担保型	5	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
	（ 小 計 ）	388	8	6	5,350,000
臨時特例つなぎ資金		2	0	0	0
生活復興支援資金		0	0	0	0
合　計		390	8	6	5,350,000

１０　心配ごと相談事業　　＊昭和２５年度から開始

法律や行政等の専門家が日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」を毎週木曜日に実施しました。併せて国が定める「人権擁護相談」及び「行政相談」とも連携し、毎月第２・第４木曜日は３つの相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和７年度は前年度より相談件数が減少してしまいましたが、区民まつり等で事業の PR 活動を行ったことから新規の方の利用につながり、相談の分野を問わず、気軽に相談できる場として利用していただくことができました。

また、年に３回、相談員の資質向上や幅広い相談に対応していくため「心配ごと相談員研究会」を実施し、テーマごとに講師を呼んで終活や消費者トラブルについて理解を深めました。

【実施日時】　毎週木曜日　１３時から１６時
【実施日数】　５１日　（前年度比＋２日）
【相談件数】　５３件　（前年度比－６件）
【相談時間】　平均１０１分／１回
【相談員数】　９名
（他に、人権擁護委員５名・行政相談委員２名）



「心配ごと相談員研究会」
消費生活講座の様子

１１　在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。

■年間利用状況

事　項	研修室	ボランティアルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合　計
延利用団体数	276 団体	302 団体	36 団体	97 団体	280 団体	958 団体
延利用者数	3,166 名	1,538 名	72 名	172 名	1,184 名	6,066 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）※ボランティア活動の再掲

事業名	開催日	会　場　等
わいわいサロン（体操）	毎月第２金曜日	研修室
事業名	開催日	会　場　等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第２土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第２土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第２土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第４土曜日	ロビー

１２　児童館・福祉会館の管理運営



１　なごホーム守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館につきましては、令和７年度に新たな指定管理期間の初年度を迎えることができました。

令和７年度も、子どもたちで話し合いながら、企画・準備・振り返りなどを行い、主体性・協調性・社会性を育むとともに、自分たちの思いを形にしてやり遂げる達成感や自己肯定感を高めるための事業に取り組みました。また福祉会館が併設されていることを活かし、両館での連携事業にも取り組みました。

【主な事業】

（１）子育て支援活動

①自由参加の行事

フリーマタニティビクス、わらべうたであそぼう、フリーパパママビクス、ともだちをつくろう、ちゅうりっぷとあそぼう、フリーベビマビクス、パレットのうたってあそぼう、フリーリトミック、おはなしであそぼう、ママのためのトレーニングなど、親子で気軽に参加できるよう、様々な自由参加の行事を多く開催しました。


【おはなしであそぼう】

②前・後期クラブ活動

親子体操、リトミック、英語 de あそぼう、つくってあそぼうクラブを開催し、子どもの成長と親同士の仲間づくりを進めました。


【移動児童館】

③移動児童館

志段味地区会館(8 回)、守山生涯学習センター(3 回)、大森会館(1 回)で開催しました。

④専門家による子育て支援講座

小児科医師や歯科医師による講話と個別相談を行いました。また、守山保健センターと連携した歯科衛生士による歯磨き指導や管理栄養士による離乳食講座を開催しました。


【小児科医師の講話】

⑤親支援講座

○「スターペアレンティング」

(758 キッズステーション、守山区役所共催)

居心地の良い親子関係や楽しみながら子育てをする方法を学びました。

○「親子で交流！集まれ乳児」(守山生涯学習センター共催)

リトミックや手遊び、わらべうた、ベビーマッサージ、体操、絵本等を通して親同士が親子で交流し、乳児の特性や接し方について学び、子育てのヒントを見つけることができるようにしました。

○「離乳食のおはなし」「幼児食のおはなし」(企業との連携)

管理栄養士や子育てアドバイザーから、離乳食や幼児食の進め方、幼児期に必要な栄養素等について学びました。

（２）子ども育成活動

①前期・後期クラブ活動

将棋、囲碁、オセロ、工作、卓球、科学実験クラブを開催し、楽しみながら知識や技能を習得できるようにしました。

②おばけやしき・こどものまち

子ども自らが企画・運営することで、創造性や協調性を培い、達成感を得ました。また、こどものまちでは、社会の仕組みや働くことの意味を学びました。


【おばけやしき（準備）】

③４コマまんがコンテスト

テーマを決めず、自由な発想で４コマまんがを描きました。募集した作品を児童館内に掲示して、みんなの投票で優秀賞等を決めました。

④子ども会議（ハニット会議）

子どもたちの自主性と提案・実践力を高めるために行い、会議での話し合いを基に、子ども企画行事として「ミニ祭り」を開催しました。

⑤世界を身近に感じよう・世界の料理づくり

遊びや歌、料理作りを楽しみながら、いろいろな国の言葉や食文化の違いを感じ、文化の多様性を実感することができました。

⑥楽しい！わんぱく森たんけん！

小幡緑地で活動しているボランティアの協力を得て、木や草を使った遊びをしたり、木登りや縄と木でできたブランコ等で遊んだりして、自然に慣れ親しむことができました。


【わんぱく森たんけん】

⑦ライ麦プロジェクト

児童遊園にある花壇を活用して、ライ麦を種から育てました。その後、ライ麦の穂を利用した「はりねずみ」やライ麦の茎を利用した「ストロースター」などの飾りを作りました。

（３）中学生・高校生を応援する活動

①中高生専用の時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の開催（毎週金曜日　17：00～20：00）

友達とおしゃべりをしたり、卓球をしたり、学校の宿題をしたりする場を設け、中高生の利用促進と家・学校以外の第３の居場所づくりを目指しました。


【ナイター児童館(卓球)】

②中学生の学習支援・高校世代への学習・相談支援（火曜日　18：15～20：15）

生活困窮世帯や生活保護世帯、ひとり親家庭の中学生を対象に、ひとりひとりの学習レベルにあわせて、学習習慣を身に付けることや高校進学などを目指した学習支援を行いました。学習時間は勉強に集中し、休憩時間はリラックスをしておやつを食べたり、お

しゃべりをしたりして、思い思いに過ごしました。

２ 守山福祉会館の管理運営

新たな指定管理期間の初年度となり、守山福祉会館では、６０歳以上の高年齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられることを願って、各種主催講座や相談事業の実施、さらには同好会活動の支援を始め、囲碁・将棋室や卓球室などの自由利用の部屋を運営し、高年齢者の生きがいづくり（利用者同士の交流促進やレクリエーションの場の提供）に取り組んでまいりました。

令和７年度は併設している児童館利用者との交流事業として、「みんなで楽しむボッチャ大会」を実施しました。館内の健康チェックコーナーにはセルフケア増進のため、無料で使っていただける体組成計を新たに設けました。入浴事業については、週 4 回からコロナ禍以前の週 6 回の実施に戻すことができました。令和８年３月には講座、同好会の日頃の活動の発表の場として、舞台発表会を館内にて実施。観客数の制限なく開催し、出演団体１３組、演者及び来館者で延べ約３００名と賑やかなイベントとなりました。



【主な実施事業】

① 「やさしい書道」はじめ１５講座の「趣味の講座」の開催
② 「趣味の講座」の内１講座は志段味地区会館にて出張講座として開催
③ 単発講座は、運動系、文化系の講座を毎月５～１０回開催、その他にも認知症予防系、フレイル予防系の講座や医師による健康講話など開催
④ ４１の同好会等への活動の場の提供
⑤ お風呂の自由利用、囲碁・将棋室の自由利用、フレイル予防のためのフィットネスジム 体操室「すこら」の提供、大広間と和室での卓球の開催、参加予約不要の映画鑑賞会「もりもりシネマ」とカラオケの集い、「歌なかま」「どれみの会」の開催
⑥ 医師による健康相談、健康チェック
・フレイルチェックの実施。
⑦ 認知症予防事業として、認知症予防教室
・認知症予防リーダーの養成講座の開催
の情報収集及び発信
⑧ 認知症予防リーダー及びフレイル予防リーダーの派遣・スキルアップ事業、交流会の開催
⑨ 公式ウェブサイト、インスタグラムの活用
⑩ 利用者へのフリーWi-Fi 環境の提供
⑪ 中庭の一部を利用してのライ麦プロジェクト、菜園事業等


みんなで楽しむボッチャ大会


認知症予防教室（わくわく教室）

１３　共同募金運動への協力

１　赤い羽根共同募金運動（１０月１日～１２月３１日）

【目標額】　９，２９５，０００円
【実績額】　８，７６０，０２６円（前年度比　280,258 円減）

２　歳末たすけあい募金運動（１２月１日～３１日）

【目標額】　４９３，０００円
【実績額】　４４５，１３８円（前年度比　4,066 円減）

３　災害義援金（４月１日～３月３１日）

【募金額】　１０，６８７円

４　赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、「優秀」に選ばれた作品を本会広報紙及びホームページへ、「佳作」に選ばれた作品をホームページへ掲載しました。

【応募数】
書道の部　・・・　１，２３０点
ポスターの部　・・・　２２３点

【学校からの推薦数】
書道の部　・・・　１０１点
ポスターの部　・・・　８５点

【優秀・佳作点数】
書道の部　・・・ 優秀：１０点・佳作：１０点
ポスターの部　・・・ 優秀：１０点・佳作：１０点



令和７年度　特賞
名古屋市長賞受賞作品

５　街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

街頭募金

【回　数】　２回
【実績額】　３４，８０８円



アピタパワー新守山店での
募金活動（瀬古学区）

令和７年度事業報告の附属明細書

令和７年度の事業報告に関して、定款第４０条第１項第１号に規定する事業報告の附属明細書について、記載する事項（※）はありません。

※記載する事項……社会福祉法施行規則第２条の２５第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」